

1	審議会名	丸子地域協議会
2	日 時	平成28年9月27日(火) 午後1時30分から午後2時30分まで
3	会 場	丸子地域自治センター 4階 講堂
4	出席者	久保田和英会長、工藤裕子副会長、大神文子委員、小澤厚委員、掛川忠康委員、 金井良光委員、後藤有希委員、齋藤明委員、櫻井義明委員、佐藤重喜委員、 田村裕子委員、堀内百合子委員、牧内由貴委員、八木沢啓一委員、 横山佳栄委員、吉池美智恵委員、依田勝夫委員、綿谷憲一委員 【欠席委員2名】
5	市側出席者	谷仲丸子地域自治センター長、手塚丸子地域自治センター次長兼地域振興課長、 石井丸子地域教育事務所長兼地域振興課政策幹、土屋市民サービス課長、 竹花建設課長、芦田建設課政策幹、藤極丸子・武石上下水道課長、 池内丸子学校給食センター所長、手塚丸子消防署長、翠川産業観光課課長補佐及 び商工観光係長、 (説明者) 齋藤丸子まちづくり会議事務局長 (事務局) 清水担当幹、中山主査、竹花主査
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	3人 ・ 記者 2人
8	会議概要作成年月日	平成28年10月12日

1 開 会 (手塚センター次長)

2 会長あいさつ

3 報告事項

(1) 分科会及び研究会での検討状況について

ア 公共交通に関する分科会

- ・全体会の前に、「まりんこ号」西コース3便(自治センター11:25発)の乗車による現状確認をおこなった。毎日運行が良いとの乗客の意見もあった。
- ・前回の分科会では、デマンド交通の事例研究:「スマイル号」(武石)、「こもろ愛のりくん」(小諸)、「おでかけちゅんちゅん号」(宇都宮市雀宮地区)ほか。
- ・「まりんこ号」の大屋駅接続を研究していく。修学館の生徒の乗り残し事案の補完も踏まえて研究していく。

イ 丸子地域の子育て支援に関する分科会

- ・前回会議にて、東御市の病児保育、常駐の看護師が園児の急病の際に病院に連れて行ってくれるのが、子育ての母親にとってありがたいとの意見あり。東御市と市民病院の連携がよく取れているのではないかと。
- ・ファミリーサポートの制度について。本日の全体会後、ファミリーサポートの制度の現状把握のための視察を実施(丸子ボランティアセンターにて)。
- ・わかくさ幼稚園の建て替えの検討の場に参画させて欲しい。病児保育のシステムの導入等。

ウ 新しい観光に関する分科会

- ・第5期分科会の申し送り事項の再確認。
- ・信州大学繊維学部内に、富岡製糸場から岡谷市までを「信州シルクロード」として、産業遺産の保存や誘客増加の取り組みの動きがある。丸子地域として、ここに加わることができないか。
- ・鹿教湯温泉マスタープランの修正について説明。

4 その他

(1) 次回以降の協議会日程について

第7回協議会 10月31日(月) 午後1時30分 ふれあいステーション3階会議室
「第3回わがまち魅力アップ応援事業」審査会の開催なし。応募者なし。

（２）議会報告会について（御案内）

- ・第 6 回上田市議会の議会報告会について。丸子地域は、10 月 21 日（金）丸子文化会館で午後 7 時から 90 分間。テーマ別車座集会、丸子地域は 10 月 24 日（月）丸子ふれあいステーションにて。

（３）丸子まちづくり会議からの報告

- ・丸子まちづくり計画策定に関するアンケート集計結果について。アンケート設問「問 4」「問 5」「問 6」関しての中間報告。男女別、年代別、地域別での結果について報告。
- ・自由記載意見については後日提示。
- ・アンケート回収率：配布数 7,962 世帯（丸子地域の全世帯）回収 3,457。回収率 43.4%。
- ・以降、協議

（委員）問 5 の丸子の課題の箇所。「高齢者の増加」が課題とあるが、若い人が増えないとの解釈でよいのか。

（まちづくり会議）若い人が少ないとの意。高齢者数の増加が問題ということではない。

（委員）地区別の回収率はどうか。

（まちづくり会議）回収率、一番高い地区で 45.7%。低いところで 37.5%。

（会長）全体の集計を急いでください。

（４）その他

●合併 10 周年における合併の検証について

第 5 回丸子地域協議会での委員質問に関し丸子地域自治センター長が市の見解を報告。

- ・合併 10 年の検証は既に行われたというのが市の判断。直接的に合併効果を検証するというものではないが、これまでの成果・実績を踏まえて、第二次総合計画策定過程において、合併後の上田市の施策の方向性が検証できたものとして位置づけられている。住民アンケートによる満足度の向上や、市民ニーズに応じた施策も展開されている。
- ・最大の合併メリットとしては、行財政改革。スケールメリットを生かした行政経営が可能となった。合併特例債、国県の支出金による財政支援等により、新市建設計画を進めることができた。（ほか、具体的な個別成果は記載略）
- ・丸子地域独自の検証や歩みを残すことについては、例えば持ち寄り基金の 10 年間の使途状況や今後の基金の支出についての協議等は可能。
- ・前回の地域協議会での発言訂正：本庁の合併 10 周年の担当部局は政策企画課ではなく、総務部の行政改革推進室。
- ・以降、協議

（委員）上堰と下堰、下方にくだっても水路幅が変わらない。8 月のゲリラ豪雨の際の増水は大変だった。災害が起こらないような考慮を。

（委員）検証済との市の見解ですが、聞き方によってはすべてうまくいっているとも聞こえる。今後、手薄いところにスポットを当て充実を。自治センターでの市民サービスの悪化の現状がある。なんでも本庁というのであれば、住民の不満はつる。

（行政）上堰と下堰の排水対策については、洲崎川改修等により、通常の雨量であれば問題ない。流れてきた流木等による排水部のつまりの対策は検討していく。

自治センターの機能低下・住民サービス低下については、年次目標に掲げる等して頑張っていきたい。

（会長）当初の持ち寄り基金は 6 億。現在、2 億 8 千万円になっている。大きいものはリバーフロント事業と学校の耐震化。なし崩し的に減少していて問題だ。次回の協議会で協議したい。

→ 一同からの異議はなし

●食品の安全安心についての懇談会について（御案内）

10 月 20 日（木）丸子公民館 3 階会議室にて。農産物直売所「あさつゆ」との懇談会。

主催：丸子地域消費者の会

●第 11 回人権を考える市民のつどい（10 月 6 日開催）について（御案内）

合併 10 周年記念事業。平成 28 年 10 月 6 日（木）午後 1 時半から。サントミュージア大ホールにて。講演会講師は養老孟司氏（東京大学名誉教授）。他、各種展示あり。

5 閉 会

【分科会の開催】

公共交通に関する分科会	3 階第 2 会議室
丸子地域の子育て支援に関する分科会	視察（丸子ボランティアセンターにて）
新しい観光分科会	2 階第 5 会議室
博物館研究会	15:30 ~ 3 階第 2 会議室（公共交通分科会終了後）